

人手不足・働き方改革など

中小・小規模事業者の苦悩は続く

- ★ 「**当面の経営上の問題点（複数回答）**」について、1位が「**需要の停滞**」の127社。2位が「**従業員の不足**」の69社。「**原材料価格の上昇**」が67社で3位。
- ★ 「**現在の雇用人員**」について、131社（54.1%）が「**適正**」と回答したのに対し、「**不足**」は102社（42.1%）と人手不足の状況が続いている。「**過剰**」と回答したのはわずか9社（3.7%）。
- ★ 「**年次有給休暇の時季指定（5日取得）**」については、半数の119社（50.6%）が「**これから取り組む予定（実施予定）**」と回答。「**すでに取り組んでいる**」の85社（36.2%）を合わせ、9割弱が何らかの取り組みを始めているが、31社（13.2%）は「**法改正を知らなかった（これから検討する）**」と回答。

平成31年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成31年3月に実施した第116回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が116回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は251社（小売業72社、卸売業29社、製造業34社、建設業60社、運輸・交通業16社、観光・サービス業40社）で回収率は50.2%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲11.2と、3ヶ月前の前回調査から13.1ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が1.6%、「やや好転」が20.5%で、逆に「やや悪化」が27.7%、「かなり悪化」が5.6%だった。売上DIも2.7から15.2ポイント悪化し▲12.5と売上同様、再びマイナス値へ。採算DIも9.8ポイント悪化し▲18.5。原材料（商品）仕入価格は32.4から36.3と上昇傾向。DI値は軒並み悪化しているが、過去5年の同時期と比べてみると、最も良い数値を示しており「1～3月期」という時期的要因による悪化が影響しているように思われる。

今回事業所に対し、「現在の雇用人員」について尋ねたところ、「過剰」と回答した事業所は9社（3.7%）に対し、「不足」と回答したのは102社（42.1%）と人手不足の状況が続いている。特に、建設業、運輸・交通業、観光・サービス業の3業種が不足と回答した割合が多い。「適正」と回答したのは、131社（54.8%）。

このような中、働き方改革関連法により『今年4月から労働者のいる全ての事業者に義務付けられた「年次有給休暇のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させる」有給休暇の計画的付与』については、「すでに取り組んでいる」と回答したのは85社（36.2%）。半数の119社（50.6%）は「これから取り組む予定（実施予定）」と回答し、4月からの施行に対し「人手不足」と「働き方改革関連法」の狭間で、取り組みへの遅れは感じるが、確実な実施に向け、労働者が働きやすい環境を整え始めている現状が伺えた。ただ、「法改正を知らなかった」という事業所も31社（13.2%）あった。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲11.2。業種別では、小売業、卸売業、製造業、運輸・交通業の4業種で悪化。中でも、小売業（▲7.8→▲29.6）、卸売業（7.7→▲31.0）、製造業（18.4→▲23.5）の3業種が30ポイント以上の大幅悪化。建設業（8.3）と観光・サービス業（20.5）はプラス値。

売上は、全業種合計で今期▲12.5。業種別では業況同様、小売業、卸売業、製造業、運輸・交通業の4業種で悪化。うち、卸売業（0.0→▲44.8）と製造業（28.9→▲32.4）は大幅悪化。建設業（8.3）と観光・サービス業（17.9）はプラスの値。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期36.3と上昇傾向。来期見通しについては、運輸・交通業で上昇すると回答する割合が多く、原油価格（ガソリン、軽油等）が上昇してきていると思われる。

採算は、全業種合計で今期▲18.5と9.8ポイント悪化。業種別では、業況、売上同様、小売業、卸売業、製造業、運輸・交通業の4業種で悪化。プラス値を示したのは建設業（1.7）のみ。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



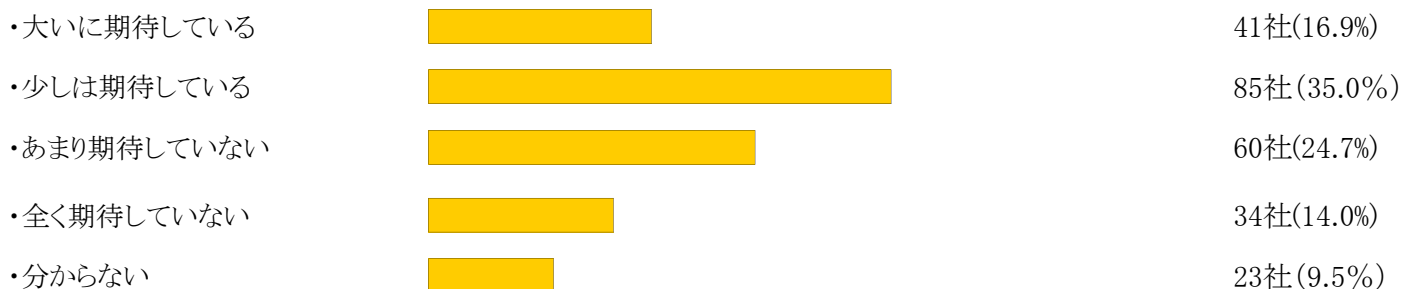
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【「働き方改革関連法」により労働者に対して「年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させる」ことが義務付けられますが、どのような対応をされていますか？】



【日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)がオープンしますが、三次市の活性化に？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 11.2	▲ 26.3
小売業	▲ 29.6	▲ 45.7
卸売業	▲ 31.0	▲ 10.3
製造業	▲ 23.5	▲ 23.5
建設業	8.3	▲ 28.3
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 18.8
サービス業	20.5	▲ 5.3

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 12.5	▲ 25.9
小売業	▲ 25.7	▲ 42.0
卸売業	▲ 44.8	▲ 13.8
製造業	▲ 32.4	▲ 26.5
建設業	8.3	▲ 26.7
運輸・交通	▲ 6.3	▲ 12.5
サービス業	17.9	▲ 10.3

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

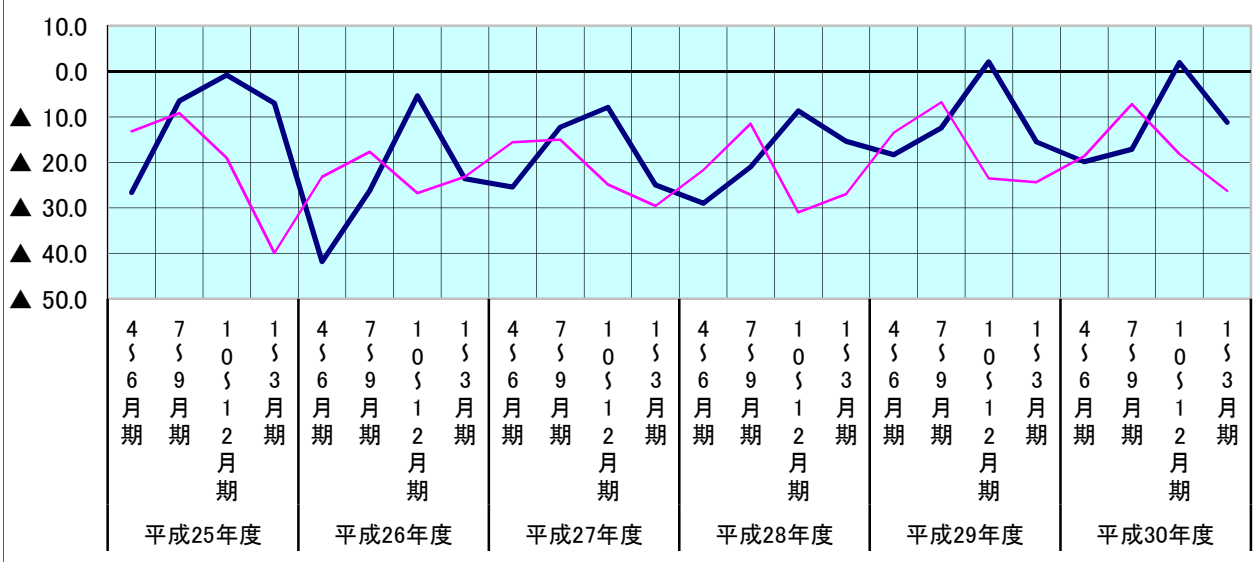
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.5	▲ 25.6
小売業	▲ 22.5	▲ 41.4
卸売業	▲ 44.8	▲ 17.2
製造業	▲ 32.4	▲ 29.4
建設業	1.7	▲ 26.7
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 6.3
サービス業	▲ 10.3	▲ 5.4

(好転割合－悪化割合)

全業種

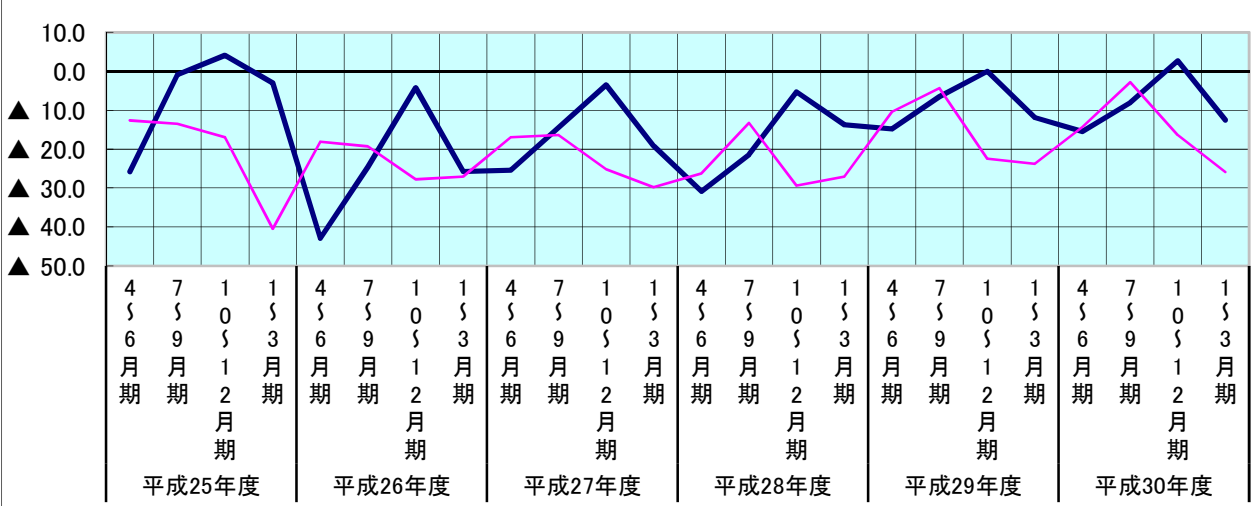
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



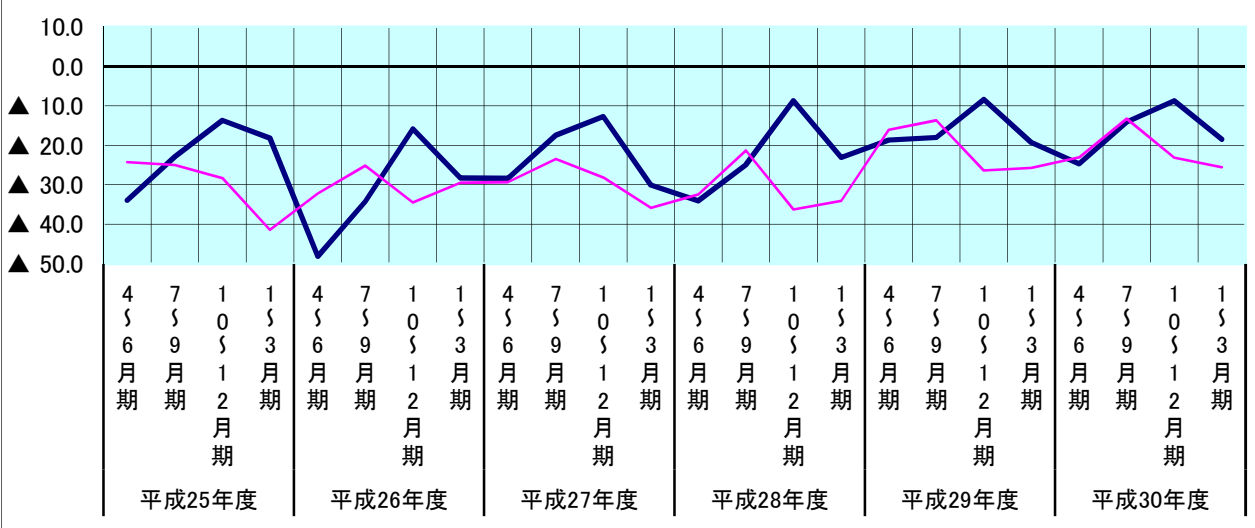
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し







































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
卸 売 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
建 設 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1月～3月 実 績			
	4月～6月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い